

発刊に寄せて

宇佐市は、2005年3月31日に宇佐市、院内町、安心院町の1市2町の合併により誕生しました。

本市の特徴を一言でいえば「豊かさ」であり、文化面では、全国八幡社の総本宮である宇佐神宮はもとより東西本願寺別院や鏝絵、石橋等数多くの豊富な歴史遺産が市内に散在しています。

また、自然環境では、市南部の緑豊かな森林地域を源にした多くの支流から集められた水が広大で肥沃な宇佐平野を潤したのち、豊前海に注がれ、好漁場を形成しています。

そうした優れた歴史や自然を背景に、本市は宇佐神宮をはじめ、不滅の連勝記録を誇る双葉山や麦焼酎の出荷量等、日本一と言われるものを6つ、神輿やグリーンツーリズム、からあげ専門店等、日本で初めて発祥したものを6つも有しています。

そこで、これらの地域資源をまちづくりのアイデンティティとして最大限活用し、「住んでよし、訪れてよし」のより良いまちづくりを実現するため、「第二次宇佐市総合計画」では、『定住満足度日本一、交流満足度日本一のまち』づくりを目標に掲げ、地方を取り巻く様々な課題解決に向け、市民の皆さまと行政が一体となり、高い志と情熱をもって各施策に取り組んでいるところであります。

そうした取り組みの成果として、昨今では、令和の時代を切り開く拠点として整備を図った市役所新庁舎や、県内で初めて「世界かんがい施設遺産」に登録された宇佐のかんがい用水群、宇佐神宮勅使街道「光の参道」等、まちの新たな魅力が次々と生まれています。

この度発刊いたしました市勢要覧では、こうした本市の取り組みや歴史、文化等の魅力を「宇佐の宝」として紹介しております。多くの皆さまにご覧いただき、本市が誇る豊かな「宝」に触れていただければ幸いに存じます。

今後も、市民の皆さまとともに、新たな時代に向けた持続可能な市政運営に尽力してまいりますので、皆様方の一層のご理解とご協力をお願いいたします。



大分県宇佐市長 是永 修治

